



IFA（国際アロマセラピスト連盟）認定

IFA 国際アロマセラピスト資格取得

【一般コース】メディカルアロマセラピーコース

【看護師対象】医療アロマセラピーコース

IFA 認定アロマセラピーコースにお問合せいただきありがとうございます。

当校は医学をベースにした専門性の高いアロマ理論とアロマセラピーマッサージ技術習得を目的に、1996年に日本初のIFA認定校として開校し28年目を迎えます。

補完代替療法として、病気にも対応できる専門性の高いアロマが学べます

一般的にアロマセラピーはリラクゼーションとして知られていますが、当校のIFA認定アロマセラピーコースは、健康な方だけでなく病気の方にも活かせるアロマの技術が学べます。解剖生理学・病理学およびアロマ理論の授業はオンライン受講も可能なため、遠方の方も受講していただけます。

【IFA認定 メディカルアロマセラピーコース】

どなたでも受講していただけます。医学知識、アロマセラピーの知識とアロママッサージ技術を基礎から応用まで学ぶと同時に、健康な方だけでなく、様々な病気や日常的な不調に対するアロマセラピーの実践的なテクニックを学んでいただけます。

【IFA認定 看護師対象 医療アロマセラピーコース】

看護師の方をはじめ医療系国家資格をお持ちの方を対象としたコース。病院、訪問看護、介護施設等で病気の方に安全で効果的なアロママッサージの技術を用いた実践的アプローチ、薬剤に対する精油の毒性など専門的な知識と技術を学んでいただけます。

こんな方に最適です！

基礎から医学に基づくアロマセラピーを学びたい方

心身の不調や病気の方にも施術できる正しいアロマの知識と技術を身につけたい方

医療福祉現場で患者様の症状に合わせたアロマセラピーを実践したい方、に最適なコースです。

コースご説明
ご相談

コース説明・ご相談は対面、お電話、オンライン(ズーム)で行っています。
ご説明・ご相談をご希望の方は、スクールまでご希望の日時をご連絡ください。
ご説明の際にコースの授業内容、課題等についてご説明いたします。



お問合せ先：**日本ホリスティックケア研究所**

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22-16 四ツ谷ASTY 106 (JR四ツ谷駅下車 徒歩9分)
TEL 03-3355-7388 E-mail info@aromapot.co.jp ホームページ <https://www.aromapot.co.jp>

IFA 認定 メディカルアロマセラピーコース

IFA 認定 看護師対象 医療アロマセラピーコース

(解剖生理学・アロマ理論はオンライン受講可)

日本ホリスティックケア研究所は、日本でのアロマセラピスト育成を目的として開講した日本初の IFA(国際アロマセラピスト連盟)認定校です。



1950年代後半、オーストリア人のマルグリットモーリー女史は、マッサージの技法を用いたモーリー式アロマセラピーマッサージを開発し、ロンドン在住のフランス人ミシュリン・アーシエ女史に伝授。アーシエ女史はロンドン中心部にイギリス初のアロマセラピークリニックを開きました。

当校を開講したジャーメイン・リッチ女史は1969年にアーシエ女史からアロマセラピーを学び、アーシエ女史のアシスタントを務め、また治療にアロマを導入した医師ジャン・バルネ博士のもとでアロマセラピストとして従事。1985年に世界初のアロマセラピスト組織「IFA」を創設しました。

日本ホリスティックケア研究所は、IFA 創設者の一人であるリッチ女史が、日本でのアロマセラピーの普及とアロマセラピスト育成を目的として1996年に開講した日本で初めての IFA 認定校です。

アロマセラピーを健康な方だけではなく、様々な病気や症状に対する安全な使い方、疾患のある方の症状緩和を目的としたアロママッサージの施術方法を学びたい方、科学的根拠に基づいた精油の知識を学びたい方などに向けたコースを行っています。

2つのアロマセラピーコースがございます

- ◎ メディカルアロマセラピーコース (どなたでも受講できます) (理論はオンライン受講可)
健康な方だけでなく、様々な不快症状をお持ちの方に、症状の緩和を目的としたアロママッサージの知識と技術を習得するコースです。症状を理解するため、人体に対する解剖学・生理学・病気の知識を学び、より根本的な問題に対応できる知識と技術を習得していただけます。
- ◎ 看護師対象・医療アロマセラピーコース (看護師・医療系国家資格保有者) (理論のみオンライン受講可)
看護師の経験を活かし、病気の方に正しく安全に精油を用いたり、アロマセラピーマッサージの施術によって症状緩和を目的としたアロマの知識とアロママッサージの技術を習得するコースです。病院、訪問看護、緩和ケア病棟、介護福祉施設などの医療福祉機関などで、病気の方に対して効果的にアロマセラピーを実践するため、科学的根拠に基づいた精油の知識やアロママッサージ技術により、患者様の多様なニーズに応えるための専門性の高い知識と技術を習得していただけます。

講習内容

- ※ 医療アロマセラピーコースは、IFA 規定による医療系国家資格保有者を対象にした解剖生理学免除制度を適用しているため、解剖生理学試験が免除となります。
(一部、免除されない資格がございますので、詳細はスクールにお問合せください)
- ※ 解剖生理学・病理学、アロマセラピー理論はオンライン受講が可能です。

【解剖生理学・病理学】

基礎医学として、身体のしくみと機能を学び、様々な病気を学習します。初めて医学を学ぶ方にも理解しやすいように、身体の骨や筋肉の位置に触れて、単なる暗記でなく、実際の施術に活かせるよう工夫しています。また、補完代替療法としてのアロマの理解を深めるため、自律神経系とストレス、生活習慣やストレスと疾患との関連、疲労のメカニズム等、実践に役立つ講習内容が盛り込まれています。

内容

解剖生理学: 概論、骨格系、筋系、循環器系、リンパ系、呼吸器系、神経系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、皮膚、ホメオスターシス、ストレス学説、免疫、アレルギー、病理学

疾患: 筋・骨格系、循環器系、呼吸器系、神経系、消化器系、内分泌系、生殖器系、泌尿器系、皮膚

【アロマセラピー理論】

精油は天然の植物原料から抽出された芳香性成分で、古代から様々な目的で用いられました。授業では、精油の特性や化学成分、薬理効果や禁忌を学びます。また、様々な症状や疾患の方に対して、安全で効果的な精油の選び方や使用方法、ブレンドの仕方など、実践的な内容を学びます。

内容

歴史、植物学、栽培法、抽出法、精油の化学、保管方法、精油の品質と化学成分の分析法、精油の偽和、各精油の特性と作用、使用方法、ブレンド方法、毒性、薬物との相互作用、精油の吸収と排泄、精油の禁忌、嗅覚、匂いと自律神経系の関わり、植物油の成分と特性、セラピスト倫理、ストレスとアロマセラピー
様々な疾患に対する精油の使用法と注意、ホリスティックアロマセラピー、ストレスマネージメント
マッサージの歴史、マッサージの禁忌、疾患に対するアロマセラピーマッサージの効果と注意、
妊産婦への精油の使い方と注意、子供への精油の使い方と注意、高齢者ケアでの精油の使い方と注意

【アロマセラピーマッサージ実技&ボディーマッサージ実技】

アロマセラピーマッサージは、マルグリット・モーリーが創った自律神経系の経路に沿って行う特殊な技法です。自律神経系に影響を与えるアプローチにより、副交感神経と交感神経のバランスに有用で、ストレスを和らげ、心身の様々な不調や病気に対する不快症状を緩和する助けになります。

ボディーマッサージは、アロマセラピーマッサージの土台となるオイルマッサージのテクニックで、当校ではアロマセラピーマッサージの実技の開始前に、オイルマッサージの正しい姿勢と体重移動、圧の掛け方など、オイルマッサージの基本技法を学びます。基礎から丁寧に指導しますので、アロマセラピーマッサージを初めて学ぶ方も安心して受講していただけます。

この実技授業では、アロマセラピーマッサージの基礎から全身アロママッサージの技術を習得できます。

内容

全身アロマセラピーマッサージ技法 (フェイシャルトリートメントを含む)、オイルマッサージの基本技法、正しい姿勢と体重移動、自律神経系とアロママッサージ、コンサルテーション、ケーススタディー

【メディカルアロマセラピー】(メディカルアロマセラピーコース)

より専門的な精油とアロマセラピーマッサージの知識と技術の習得、病気の方に対して補完代替療法として安全で効果的な精油とアロマセラピーマッサージの実践方法、病院や福祉現場でのアロマセラピーの実践方法を学びます。

身近な症状(肩凝り、頭痛、腰痛、浮腫み、不眠、女性特有の症状など)、妊産婦や高齢者へのアロマケア、がん患者や精神疾患の方への精油の選択や施術の注意など、

【医療アロマセラピー】(看護師・その他の医療系国家資格をお持ちの方が対象)

看護師としての経験を活かして、患者様への症状緩和を目的とした医療福祉現場でのアロマセラピーマッサージの活用を目的とした知識と技術を学びます。

がん、関節拘縮や変形、浮腫や不眠、疼痛などの様々なニーズに対応できるアロマセラピーの知識と技術、精油の薬物との相互作用など、医療領域でアロマセラピーを用いる上で必要な専門知識を学びます。

また、訪問看護、緩和ケア、介護施設などで、すでにアロマセラピーを導入している看護師が実際の症例や実践内容について授業を行います。

なお、2020年に新型コロナウイルス感染症により福祉施設での現場実習を中止しておりますが、受け入れ態勢が可能になりましたら再開いたします)

《医療アロマセラピーコースとメディカルアロマセラピーコースの違い》

メディカルアロマセラピーコースはどなたでも受講していただけるコースです。健康な方だけでなく、病気の方にもアロマセラピーを提供するため、解剖生理学や病気についてしっかりと学び、症状に合わせた精油の選択とアロマセラピー技術の習得を目的としています。コース最後の「メディカルアロマセラピー」では肩こりや腰痛などの日常生活の不快症状や疾患の方へのマッサージの応用、高齢者や妊産婦へのアロマケアの方法を学びます。

医療アロマセラピーコースは、IFAの看護師など医療系国家資格をお持ちの方が対象の「解剖生理学免除制度」を利用したコースで、解剖生理学の受講は任意となります。病気の方に対して症状緩和やQOL向上のためのアロマセラピーを習得していただくことを目的としています。コース最後の「医療アロマセラピー」では、様々な疾患に対応したアロマセラピーの実践や、病院、緩和ケア、訪問看護、介護施設などでのアロマセラピーの活用方法や症例などを学んでいただけます。

【授業を欠席された場合について】

講義の授業(解剖生理学・病理学、アロマ理論)は事前にご連絡をいただくと、授業を録画して配信しますので、ご自宅で視聴していただけます。(IFA規定により録画による授業は制限がございます)

実技を欠席された場合は、次の授業で欠席された授業内容をサポートします。(IFA規定により、実技授業の欠席が規定を越えると補講が必要な場合がございます)

【IFA本部試験対策について】

当コースでは、IFA本部試験に対応するため、年間の授業を通して試験対策に役立つきめ細かな講義を行なっています。また、IFA本部試験まで模擬試験を実施して、本部試験合格に向けて充実したサポート体制でバックアップしています。(2023年の本部試験実績 合格率 100%)

【卒業後のフォローアップ】

卒業後のご質問は随時お寄せいただけます。また、医療福祉現場へのアロマセラピーの導入の際のアドバイスも行っています。

《補完・代替療法とは》

補完・代替療法とは、現代西洋医学以外の各種療法の総称。『相補する、補う』と『療法』を合わせた言葉で、一般的に自然療法や伝統的な医療を含めた様々な療法を指します。

欧米では、西洋医療の治療を受けている方が補完代替療法を併用しているケースが多く、イギリスでは病院などの医療機関に導入されています。また、アロマセラピーサロンでも、一部のアロマトリートメントが民間の医療保健の適用となる場合があります。

IFA アロマセラピーコース主任講師紹介

* 田代 直子

IFA 認定アロマセラピスト、IFA 認定プリンシパルティーチャー

1995 年より精油会社勤務、精油メーカーでのアロマ講座の講師を担当。1997 年よりホテル内スポーツクラブにてアロマトリートメントを行う。2001 年より、医院（内科・神経内科）にてアロマトリートメント担当。2002 年よりアシスタントを経て、講師として指導に携わる。

2004 年より個人サロン「TUBEROSA」にて活動中。

* ベンゼル 智子

IFA 認定アロマセラピスト、IFA 認定プリンシパルティーチャー、按摩マッサージ指圧師

1992 年ニューヨーク在住中に、フランス人アロマセラピスト、ミノウ・デ・メイ女史よりアロマセラピーを学ぶ。帰国後、(財)日本総合研究所で看護師へのアロマセラピー教育を担当。

1995 年より英国にてジャーメイン・リッチ女史に師事。1998 年より病院の緩和ケア病棟で、がん患者にアロマセラピーマッサージ、その後、一般病棟、認知症病棟でアロママッサージ担当。

現在は 四谷のスクール併設サロンでアロママッサージを行っている。

* 山崎 恵美子

IFA 認定アロマセラピスト、IFA 認定プリンシパルティーチャー、按摩マッサージ指圧師

1999 年より、アロマセラピーサロンに勤務。2004 年より心療内科でアロマセラピーマッサージを行う。2006 年より緩和ケア病棟、長期療養型病棟、心療内科クリニック、高齢者介護施設にてアロマセラピストとして従事。2005 年よりアシスタントを経て、講師として指導に携わる。

現在は、横浜の治療院でアロマセラピーマッサージを行う。